

2005 年度統計力学 II 宿題 9 (6 月 13 日出題、6 月 20 日提出) 解答

担当 吉森 明

- [問題 1.] ① $T > T_c$ で μ を T_c の周りで展開し、 $(T - T_c)^2$ まで求めよ。
② $T < T_c$ の時の S を求めなさい。

[解答] ① 最初に訂正させて下さい。

訂正: 授業では、 μ の展開を

$$\text{(誤)} \quad \mu = -\frac{9 k_B T_c}{4 \tilde{b}^2} \left(\frac{N}{V}\right)^2 \left(\frac{\Delta T}{T_c}\right)^2 \quad (1)$$

と書きましたが、これは間違っていました。(次元も合いません。) 正しくは、

$$\text{(正)} \quad \mu = -\frac{9 k_B T_c \lambda_{T_c}^6}{4 \tilde{b}^2} \left(\frac{N}{V}\right)^2 \left(\frac{\Delta T}{T_c}\right)^2 \quad (2)$$

です。謹んでお詫び申し上げます。

またまた訂正です。

訂正: 授業で、 z が 1 に近い時、

$$\text{(誤)} \quad b_{3/2}(z) \approx b_{3/2}(1) + \tilde{b}(z - 1)^{1/2} \quad (3)$$

と書きましたが、これも間違いです。($\mu < 0$ なので、 $z < 1$ だから、このままだとルートの中が負になります。) 正しくは、

$$\text{(正)} \quad b_{3/2}(z) \approx b_{3/2}(1) + \tilde{b}(1 - z)^{1/2} \quad (4)$$

です。いくつも間違っただけに本当に申し分けありません。

(4) 式を $N/V = b_{3/2}(z)/\lambda_T^3$ に代入すると、

$$\frac{N}{V} = \frac{1}{\lambda_T^3} \{b_{3/2}(1) + \tilde{b}(1 - z)^{1/2}\} \quad (5)$$

$1 - z$ について解くと $b_{3/2}(1) = \zeta(3/2)$ だから、

$$1 - z = \frac{1}{\tilde{b}^2} \left\{ \lambda_T^3 \frac{N}{V} - \zeta(3/2) \right\}^2 \quad (6)$$

ここで $z < 1$ で、右辺の符号に注意。教科書 P150(10.26) を使うと、

$$= \frac{\lambda_T^6}{\tilde{b}^2} \left(\frac{N}{V} \right)^2 \left\{ 1 - \left(\frac{T}{T_c} \right)^{3/2} \right\}^2 \quad (7)$$

右辺を T_c のまわりでテーラー展開する。 $T = T_c + \Delta T$ として、

$$= \frac{\lambda_{T_c + \Delta T}^6}{\tilde{b}^2} \left(\frac{N}{V} \right)^2 \left\{ 1 - \left(\frac{T_c + \Delta T}{T_c} \right)^{3/2} \right\}^2 \quad (8)$$

$$\approx \frac{\lambda_{T_c + \Delta T}^6}{\tilde{b}^2} \left(\frac{N}{V} \right)^2 \left\{ 1 - \left(1 + \frac{3\Delta T}{2T_c} \right) \right\}^2 \quad (9)$$

ΔT^2 まで取ると

$$\approx \frac{\lambda_{T_c}^6}{\tilde{b}^2} \left(\frac{N}{V} \right)^2 \frac{9}{4} \left(\frac{\Delta T}{T_c} \right)^2 \quad (10)$$

また、 μ は充分小さいとすると、 $z = \exp[\beta\mu] \approx 1 + \beta\mu$ だから、

$$\mu = -\frac{9}{4} \frac{k_B T \lambda_{T_c}^6}{\tilde{b}^2} \left(\frac{N}{V} \right)^2 \left(\frac{\Delta T}{T_c} \right)^2 \quad (11)$$

$$= -\frac{9}{4} \frac{k_B (T_c + \Delta T) \lambda_{T_c}^6}{\tilde{b}^2} \left(\frac{N}{V} \right)^2 \left(\frac{\Delta T}{T_c} \right)^2 \quad (12)$$

ΔT^2 までで良いので、

$$= -\frac{9}{4} \frac{k_B T_c \lambda_{T_c}^6}{\tilde{b}^2} \left(\frac{N}{V} \right)^2 \left(\frac{\Delta T}{T_c} \right)^2 \quad (13)$$

② $T < T_c$ の時の S を求めなさい。

[解答] ② 教科書 P154 の (10.37) にあるようにすればすぐ解けますが、ここでは、別の解き方をします。

まず、 $T \leq T_c$ でエネルギー E は、

$$E = \frac{3V k_B T}{2 \lambda_T^3} \zeta\left(\frac{5}{2}\right) \quad (14)$$

ここで、記号はすべて教科書のとおりに使っている。定積比熱は、 λ_T が $T^{-1/2}$ に比例していることから、

$$C_v(T) = \left(\frac{\partial E}{\partial T}\right)_{NV} = \frac{15V k_B}{4 \lambda_T^3} \zeta\left(\frac{5}{2}\right) \quad (15)$$

また、P9(1.30) から

$$C_v(T) = T \left(\frac{\partial S}{\partial T}\right)_{NV} \quad (16)$$

だから、P7 の熱力学第 3 法則と合せて

$$S = \int_0^T \frac{C_v(T')}{T'} dT' \quad (17)$$

C_v は、 $T^{3/2}$ に比例しているので、

$$= \frac{5V k_B}{2 \lambda_T^3} \zeta\left(\frac{5}{2}\right) = \frac{5 PV}{2 T} \quad (18)$$

[問題 2.] 教科書 p160 の演習問題 1 を解きなさい。

[解答] ここでは、教科書と別の解答を与える。

まず、エネルギー E を温度 T と体積 V 、化学ポテンシャル μ の関数 $E = E(T, V, \mu)$ と考えると、転移点近傍では、 μ は 0 に近いので、 $\mu = 0$ のまわりでテーラー展開できる。

$$E = E(T, V, 0) + \left. \frac{\partial E(T, V, \mu)}{\partial \mu} \right|_{\mu=0} \mu + \dots \quad (19)$$

一方、教科書 P149(10.18) から

$$E = \frac{3}{2}PV \quad (20)$$

教科書 P10 表 1.1 からグランドポテンシャル J は、 $J = -PV$ だから、

$$E = -\frac{3}{2}J \quad (21)$$

$(\partial J/\partial\mu)_{T,V} = -N$ だから

$$\frac{\partial E(T, V, \mu)}{\partial\mu} = -\frac{\partial}{\partial\mu} \left(\frac{3}{2}J \right)_{T,V} = \frac{3}{2}N \quad (22)$$

これを (19) 式に代入すると、

$$E = E(T, V, 0) + \frac{3}{2}N\mu + \dots \quad (23)$$

μ についてもやはりこの問題の 1. で展開を計算していて、

$$\mu = -\frac{9}{4} \frac{k_B T_c \lambda_{T_c}^6}{\Gamma(-1/2)^2} \left(\frac{N}{V} \right)^2 \left(\frac{\Delta T}{T_c} \right)^2 = C\Delta T^2 \quad (24)$$

ただし、教科書 P196 付録 (F.5) からわかる $\tilde{b} = \Gamma(-1/2)$ を使った。これを (23) 式に代入すれば、

$$E = E(T, V, 0) + \frac{3N}{2}C\Delta T^2 + \dots \quad (25)$$

一方、 $T \geq T_c$ では、

$$E = E(T, V, 0) \quad (26)$$

だから、 $T = T_c$ でエネルギーの 2 階微分、比熱の 1 階微分が不連続になるのがわかる。またそのとびは、絶対値で

$$3N|C| = 3N \frac{9}{4} \frac{k_B T_c \lambda_{T_c}^6}{\Gamma(-1/2)^2} \left(\frac{N}{V} \right)^2 \left(\frac{1}{T_c} \right)^2 \quad (27)$$

$\Gamma(-1/2) = -2\sqrt{\pi}$ 、 $\lambda_T = \hbar/\sqrt{2\pi mk_B T}$ なので、

$$= \frac{27}{4} N \frac{k_B T_c}{4\pi} \frac{\hbar^6}{(2\pi m k_B T_c)^3} \left(\frac{N}{V}\right)^2 \left(\frac{1}{T_c}\right)^2 \quad (28)$$

(10.26) から、

$$= \frac{27}{4} N \frac{k_B T_c}{4\pi} \zeta\left(\frac{3}{2}\right)^2 \left(\frac{1}{T_c}\right)^2 = \frac{27}{16\pi} N \frac{k_B}{T_c} \zeta\left(\frac{3}{2}\right)^2 \quad (29)$$